

第9節 渡良瀬遊水地課

〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会総会の主催など、関係自治体及び関係団体との連携や交流を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、渡良瀬遊水地のPRとして毎月第3日曜日に熱気球dayを開催したほか、ラムサール条約登録記念日のある7月を強化月間として公式X（旧ツイッター）等を活用したPR活動を行うなど、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に興味・関心を持っていただけるような広報を行った。

環境保全については、希少植物保全のための外来植物除去活動や湿地環境保全のためのヨシ焼き及びクリーン作戦を実施した。

また、周辺に飛来するコウノトリの定着を目指し、巣塔周りのヨシ刈り等生息地環境整備を行ったほか、関係市町と連携し観察マナー向上のための見守りボランティア募集や野鳥観察パンフレットの改定を行った。令和6年3月に飛来したコウノトリの卵は孵化しなかったが、令和7年3月には同じ雄のコウノトリが営巣した。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成としてボランティアガイド養成講座の開催と渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援等を行ったほか、渡良瀬遊水地内をバスで巡るぐるり旅や、渡良瀬遊水地フェスティバルの開催など渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、「渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全活動に取り組み、それらを未来につなげる“守り人”」である会員組織のファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」の運営を行った。

また、ラムサール条約登録10周年の令和4年10月に、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城が「恋人の聖地」として選定されたことから、熱気球バレンタインカップルフライトや「恋人の聖地」巡礼ツアー等を行った。

ラムサール推進係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、副会長市であることから、出水市で行われた令和6年度 主管者会議及び第15回学習・交流会に参加した。

- ・実施日 11月7日（木）～11月8日（金）
- ・会場 ツル博物館クレインパークいずみ 他（鹿児島県出水市）
- ・登録湿地53か所のうち21か所20市町村参加

(2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など44団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、会長市として総会や定例会を開催し各団体との情報共有・意見交換を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、「環境教育・普及啓発、利用ルールづくり、歴史文化啓発」のワーキンググループ②として「環境教育のためのハンドブックづくり」に取り組みこれを完成させた。「渡良瀬遊水地の将来像(ビジョン)の策定に必要な前提事項の議論」のワーキンググループ③では、将来ビジョン及び基本方針の骨子の策定に向けて会議を行った。

令和6年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 総会

- ・実施 8月20日(火)
- ・会場 栃木市 藤岡遊水池会館 2階 大会議室
- ・参加団体数 37団体
- ※そのほか定例会を2回開催(5月、12月)

(3) 三県境事務担当学会議

栃木、群馬、埼玉の3県に跨る三県境について地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用及び環境整備を行うため、定期的に担当者による情報交換を行った。

(4) 地域おこし協力隊活動事業

渡良瀬遊水地の様々な役割と魅力を貴重な地域資源と捉え、各種団体・企業・地域住民と連携して、新たな魅力や地域資源の発掘や交流人口の拡大につなげるため、また渡良瀬遊水地と周辺地域をつなぐ情報発信を行うため地域おこし協力隊1名を委嘱した。

- ・委嘱期間 令和元年7月～令和6年6月まで

(5) 渡良瀬遊水地国営公園建設促進周辺地域連絡協議会

平成19年度から休止状態となっていた協議会について、書面総会を開催し議決を得たうえで、会を解散し負担金の清算を行った。

2 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品・植栽の維持管理を行った。また、藤岡遊水池会館1階において、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する、渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

大会議室の利用状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
316	5,886	152,510

3 渡良瀬遊水地の環境保全

(1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、企業や地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施した。

実施日	場所	参加者（人）	収集量（t）
4月13日（土） 毎年1回開催	渡良瀬遊水地 第1調節池	400	一般ゴミ 12.2 粗大ゴミ 0.8 産廃ゴミ 0

(2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。尚、4月に予定した保全活動は雨天のため参加者の活動は中止し、後日職員のみで実施した。

実施日	場所	人数（人）	保全植物
5月11日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	130	アゼオトギリ他
6月26日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	14	ノジトラノオ
9月 7日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	110	アゼオトギリ他
11月23日（土）	渡良瀬遊水地 第2調節池内	120	タコノアシ他

(3) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の国指定の絶滅危惧種植物を含む希少植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや池周囲に繁茂する桑の伐根作業等を行い、良好な生育環境の保全に努めた。

(4) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

業務委託により環境学習池（ハート池）の希少植物の生育状況や生育環境について現地調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供した。

(5) ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。

日時	3月1日（土） 8時30分開始 18時27分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数：約 720 人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクション振興財団、各消防署、各警察署 約 200 人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会 約 270 人 ・地元消防団 約 250 人
概要	○焼却面積：約 1,200ha（予定区域約 1,500ha の約 8 割）

	○見学者数＝2,700人
--	--------------

(6) コウノトリ生息地環境整備

ふるさと応援寄付金を原資としたコウノトリ生息地環境整備基金を財源として、渡良瀬遊水地内2か所に設置されている人工巣塔周辺の環境整備を行った他、第1調節池内の人工巣塔に営巣をはじめたコウノトリを見守るため、旧谷中村合同慰霊碑敷地内の監視用カメラにより観察を行った。

令和6年春は、小山市生まれの雄の「りょう」と淡路市生まれの雌の「淡夢」がペアとなり第1調節池内の人工巣塔に営巣した。本市初の産卵推定に至ったが、ふ化しなかった。令和7年春には「りょう」と、同じく小山市生まれの雌の「小白」がペアとなり、営巣した。

(単位：円)

	今年度末積立額	基金積立現在高
コウノトリ生息地環境整備基金	34,777,562	91,816,562

ハートランド城係

1 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間 7月1日～7月31日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間 7月1日～7月31日

(2) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式 X (旧ツイッター) とインスタグラムで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。

(3) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

平成26年度に制作した^{ハーツ}Hearts姫、^{わたらせナイフ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント(わたフェス、消防イベント等)に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

(4) 「渡良瀬ナイフクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

・会員数 一般会員 186人

特別会員 7人

サポート店 2店

・ナイフクラブ通信発送回数 6回

(5) 小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催5年目となった今回は小山市会場で実施。

- ・実施日 11月9日（土）、11月10日（日）
- ・会場 小山御殿広場～まちの駅思季彩館
- ・来場者数 1,110人

(6) 渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション放映

藤岡地域会議提案事業として制作した渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水地のPR動画を渡良瀬遊水地課公式YouTubeで公開したり、エコライフinとちぎで放映するなど幅広い層にPRした。

(7) 恋人の聖地関連事業

令和4年10月1日に、渡良瀬貯水池（谷中湖）及び渡良瀬遊水地ハートランド城が恋人の聖地に選定されたことから、本県産木材を使用した実物大コウノトリのモニュメント及びハートのオブジェを館内に展示するとともに、イベント事業を開催した。

- ・12月14日 恋人の聖地巡礼ツアー実施（遊水地案内、ホフマン館） 3組6人
- ・2月16日 バレンタインカップルフライト（係留）実施 9組18人

2 渡良瀬遊水地の利活用

(1) 環境学習

ア クリーンメガSUPツアー

実施日	場所	参加人数	内容
6月15日（土）	谷中湖	16人	メガSUPに乗り、谷中湖畔のゴミ拾い

イ 夏のわくわく大作戦！親子水辺教室

実施予定日	会場	参加人数	内容
7月27日（土）	谷中湖	22人	植物観察、カヌー体験

ウ ツバメのねぐら入り観察会

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月21日（水）	ハートランド城～ 渡良瀬遊水地内	18人	ツバメの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2) 渡良瀬遊水地フェスティバル2024

- ・開催日 10月6日（日）
- ・会場 渡良瀬遊水地子ども広場ゾーン及び谷中湖北ブロック
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・内容 スカイスportsやウォータースports、ロードバイク等の展示や体験、ヨシ灯り等の展示、ガイドクラブによるツアー、スタンプラリー等
- ・来場者数 600人

(3) 渡良瀬遊水地ぐるり旅

遊水地周辺をバスでガイドクラブが案内するぐるり旅を実施した。

実施日	参加人数	備考
-----	------	----

5月25日(土)	18人	
----------	-----	--

(4) わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のPR及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数(組)	参加者数(人)	備考
4月21日(日)	25	77	
5月5日(日・祝)	31	103	特別日として、小学生以下の体験料を無料で実施
5月19日(日)	54	123	
7月21日(日)	52	86	
8月18日(日)	17	56	
9月15日(日)	15	41	
11月17日(日)	6	16	
12月15日(日)	59	157	
1月19日(日)	30	56	
2月16日(日)	40	87	カップルフライト含む
合計10回	329	802	悪天候により中止3回(6、10、3月)

3 人材育成

(1) 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

渡良瀬遊水地の来訪者を案内するボランティアガイドを育成するため、養成講座を開催した。

- ・実施日 4月～12月の第4土曜日
- ・内容 渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
- ・会場 ハートランド城、史跡保全ゾーン、他
- ・受講修了者 7人
- ・回数 9回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの組織運営の支援を行った。また、団体案内申込書の受付業務及びガイド担当者の調整も行った。

- ・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合 計
日数（日）	288	116	404
利用者数（人）	4,270	1,949	6,219

(3) 渡良瀬ヨシ愛好会の活動支援

ヨシ細工指導スタッフ養成講座修了者の活動を更に発展させるため、「渡良瀬ヨシ愛好会」の設立を支援した。設立後は愛好会の活用を図り、市と協働でイベントを実施したほか、多様な申込者からの依頼に応じてヨシ細工制作体験を行った。

・渡良瀬ヨシ愛好会活動実績

	作品展示	体験申込数
件数（件）	8	14
来場者・参加者数（人）	4,824	364

4 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場、植栽及び物品の維持管理を行った。

・来館者数 11,068 人

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
100	6,601	15,825